

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者[※]の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名></p> <p>耳管専門外来受診患者の探索的観察研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院 耳鼻咽喉科 (研究責任者)大島猛史</p>
<p><研究期間></p> <p>機関の長の初回許可日 ~ 令和 10 (西暦 2028) 年 3 月 31 日</p>
<p><対象となる方></p> <p>平成 26 (西暦 2014) 年 11 月 1 日から令和 9 (西暦 2027) 年 12 月 31 日までの耳鼻咽喉・頭頸部外科耳管専門外来受診患者</p>
<p><研究の目的></p> <p>耳管開放症をはじめとする耳管機能不全の患者さんは自分の声が大きく響いて聞こえたり、耳が閉塞した感覚などの症状により耳鼻咽喉科を受診します。しかし、その病態については未だ解明されていません。当院には日本随一の耳管専門外来があり、日々数多くの耳管機能障害患者さんを診察しております。日本で有数の症例数を誇る当外来にてその診療データ、検査結果をもとに耳管開放症の病態の特徴や詳細を検証する目的で本研究を実施しております。</p>
<p><研究の方法></p> <p>上記期間内に当科耳管外来を受診した患者さんのカルテ、検査結果などのデータを用いて統計解析を行います。患者さんの個人情報が表出することはありません。</p>
<p><研究に用いる試料・情報の項目></p> <p>電子カルテ上の診療記録、問診票、耳管機能検査、画像検査結果などを検討いたしますが、患者さん方の個人情報が表出することはありません。</p> <p>研究に用いるデータについては、まだ解析や公表が行われていない段階であれば申し出により削除が可能です。ただし、すでに匿名化され解析に使用され、学会や論文で発表された後のデータについては、事後的に削除することは困難です。この点についてご理解をお願いいたします。</p>
<p><お問い合わせ窓口></p> <p>日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)</p> <p>耳鼻咽喉・頭頸部外科 氏名:大島猛史</p> <p>電話:03-3972-8111 内線:(医局)2542 (PHS)8280</p>

※研究対象者とは、以下に該当する方(死者を含む。)を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方